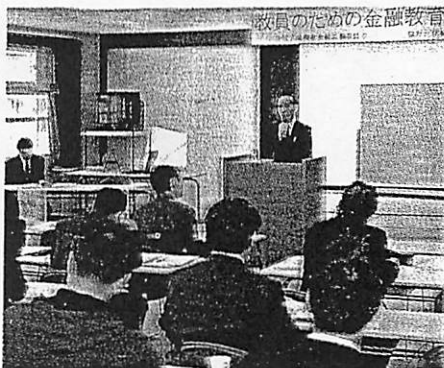


## 教材開発・アイデア力を

教員のための金融教育セミナー初開催

国研職員が授業のヒント紹介

【旭川発】「教員のための金融教育セミナー」が七日、上川教育研修センターで初開催された。写真＝



約三十人が参加。講師の国立教育政策研究所初中等教育研究部長・教育課程研究センター基礎研究部長の工藤文三氏は「教員の教材開発力、アイデア力が大切」などとアドバイスし、金融教育の必要性を訴え

められていると考え、本年度から新たに教員を対象とした金融教育セミナーを開催していくこととした。はじめに「金融教育って何ですか？」と題して、金融広報中央委員会事務局

た。主催は北海道金融広報委員会。日本銀行旭川事務所が協

力。児童生徒にお金との正しい接し方を伝え、現実社会をよりよく生きるための確かな力を培っていくことが求

た。主催は北海道金融教育プラザリーダーの國光幸人氏が講演した。國光氏は最近の金融トラブルの事例を挙げながら金融教育の必要性を強調。お金で買えるものと買えないものがある。「物々交換でお金の役割を知る」など金融教育に関する視点を示した。

次いで国立教育政策研究所初中等教育研究部長・教育課程研究センター基礎研究部長の工藤氏が「学校における金融教育の授業プランのヒント」について講演した。

「金融教育は社会科や家庭科、道徳、総合的な学習の時間以外でも取組は可能

か」評価はどうするのか」など実施上の課題を挙げ、一つ一つ解決。「教員の教材開発力、アイデア力が大切。日常にあるものを教材にするなど難しく考える必要はない」と呼びかけた。

さらに金融広報中央委員会で作成した『金融教育プログラム』の冊子を用いながら実践紹介。携帯電話料金を取り上げ、数学の一次関数を使った金融教育の例などを報告した。

最後に、買い物に着目させた金融教育の指導計画を作成させた。